

第4学年 国語科学習指導案

日 時：令和5年 11月22日（水）公開授業Ⅱ

対象児童：滝沢市立滝沢小学校4年3組 30名

授業者：多田 紀子

- 1 単元名 中心となる語や文を見つけて要約しよう
教材名 世界にほこる和紙（光村図書 4年下）

2 単元の目標

- (1) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。
〔知識及び技能〕（3）オ
- (2) 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕C（1）ウ
- (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
「学びに向かう力、人間性等」

3 単元について

(1) 児童について

児童はこれまで、第4学年の学習「アップとルーズで伝える」で、筆者の考えを捉え、それに対する自分の考えを書く学習を行ってきた。また、「要約するとき」（第4学年上巻）の学習では、要約の方法に触れている。しかし、実際、長い文章を要約する経験は少なく、苦手を感じている児童も多い。

国語の授業の中での対話については、自分の考えと同じ部分、違う部分について考えながら交流する活動を行ってきた。しかし、意見の交流が一方向で終わってしまう様子が多く見られた。本単元では、対話の観点を明確にし、双方向で意見の交流がなされるように仕組み、児童の「主体的に考え、自分の思いを表現できる力」を伸ばしていきたい。

(2) 教材について

本教材は、構成が捉えやすく、考えと理由の関係を捉えたり、中心となる語や文を見付けたりする学習に適している。ここで行う要約の学習は、上巻で既習だが、本単元では力の定着を図りたい。

また、ここで捉えた説明の仕方の工夫を、この後の「書くこと」の学習で生かすことによって、理解をより深めたい。

(3) 指導について

本単元の指導にあたっては、まず第1時において、伝統工芸について知っていることを発表したり、地域の伝統工芸について考えたりする。その後、単元のめあてを確認し、学習計画を立てる。要約の意味について「たいせつ（p51）」を使って確認しておく。

次単元では「世界にほこる和紙」で学習したことを生かして、伝統工芸のよさを伝えるリーフレットを作ることに触れ、具体的なイメージをもって学習に取り組むことができるようにする。

第2時から第6時では、「世界にほこる和紙」を使って、内容を読み取ったり、要約したりする。要約する際、いきなり全文要約することは難しいので、まずは段落ごとに要約し、その後、全文要約するようにする。

第7時では、伝統工芸に関する本について、よさが書かれていると思うところを中心に要約する。友達と交流し、中心となる語や文を選んで分かりやすく要約できているかを互いにアドバイスし合い、要約する力を高める。

第8時では、百科事典での調べ方を学習し、単元全体を振り返る。

本単元で、対話を有効に活用しながら、教材文の内容を読み取ったり、要約したりする活動を通して、児童の伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。

また、本単元で身に付けた力を次単元の「書く」活動へとつなげていく。伝統工芸に関する本を学級文庫に置き、児童が並行して読む環境を作っておく。

ICTの活用については、伝統工芸について調べたり、「世界にほこる和紙」に出てくる内容を動画で確認したりして、より実感の伴った理解のもと、要約するように仕組んでいく。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 (3)オ	「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 C(1)ウ	学習の見通しをもち、粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約しようとしている。

5 単元計画（8時間）

時間	ねらい・学習活動	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸について関心をもつ。 ・単元の学習のめあてを確認し、学習計画を立てる。 			
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界にほこる和紙」を読みおおまかな内容を捉える。 ・文章全体を「初め」「中」「終わり」に分ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・思(行動観察) (シート分析) 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・「中」を二つのまとまりに分け筆者の考えの理由となる二つのことを読み取る。 ・どのような事例が何を説明するために述べられているかを読み取る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・思(行動観察) (シート分析) 	
4 ・ 5	<ul style="list-style-type: none"> ・各段落を要約する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・思(行動観察) (シート分析) 	
6 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりごとに中心となる語や文を考え、全文を要約する。 		<ul style="list-style-type: none"> ○思(行動観察) (シート分析) 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸に関する本について、よさが書かれていると思うところを中心に要約する。 		<ul style="list-style-type: none"> ○思(行動観察) (シート分析) 	<ul style="list-style-type: none"> ○態(行動観察) (シート分析)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・「百科事典での調べ方」を読み百科事典の使い方を知る。 ・単元の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○知(行動観察) (シート分析) 		

6 本時の指導（6時間目/全8時間）

(1) 目標

まとめりごとに、中心となる語や文を捉え、文章を要約することができる。

(2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる	Bに到達させるための手立て
思考 判断 表現	まとめりごとに、中心となる語や文を捉え、文章を要約している。	各段落の内容を要約した表を活用し、まとめりごとに中心となる語や文を確認してから要約させる。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 ◇対話に関わる指導 □書くことに関わる指導 ●評価
導入	1 前時想起 2 課題把握	・前時までの学習の流れを確認する。
5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【学習課題】 まとめりごとに、中心となる語や文をとらえ、全文を要約しよう。 </div>	
展開 35分	3 解決の見通し (1)要約の流れを確認する。 4 課題解決 (1)まとめりごとに、中心となる語や文に印を付ける。 (2)印を付けた箇所について、グループごとに対話した後全体で確認する。 (3)各自、要約する。 (4)要約した文章をグループで読み合う。	・各段落の内容を要約した表を活用し、全文要約の流れを確認する。 ・「初め」「中前半」「中後半」「終わり」のまとめりごとに、中心となる語や文を選び、表に印を付けさせる。 ◇対話の観点を示し、活発な対話ができるようにする。 ・その箇所を選んだ理由。 ・同じところ、違うところ。 ・理由を聞いて、感じたこと。 □選んだ語や文をつなげ、必要な言葉を足したり、減らしたりして、要約させる。 □「和紙には、～～～」の文型を提示し、要約させる。 ◇グループで感想を述べたり、アドバイスし合ったりさせる。 ◇対話の観点を示し、活発な交流ができるようにする。 ・中心となる語や文が使われているか。 ・分かりにくい部分はないか。 ●まとめりごとに、中心となる語や文を捉え、文章を要約することができる。

